

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公表番号】特表 2003-504338 (P2003-504338A)  
 【公表日】平成 15 年 2 月 4 日 (2003.2.4)  
 【出願番号】特願 2001-508987 (P2001-508987)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 33/00 (2006.01)  
 A 6 1 K 9/08 (2006.01)  
 A 6 1 K 9/20 (2006.01)  
 A 6 1 K 9/48 (2006.01)  
 A 6 1 K 31/4439 (2006.01)  
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 33/00  
 A 6 1 K 9/08  
 A 6 1 K 9/20  
 A 6 1 K 9/48  
 A 6 1 K 31/4439  
 A 6 1 K 45/00  
 A 6 1 P 1/04  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 5 月 30 日 (2007.5.30)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】有効量のプロトンポンプ阻害物質および有効な酸中和量の炭酸水素アルカリ金属塩を含む医薬組成物であって、該組成物が固体投与形態である、医薬組成物。

【請求項 2】プロトンポンプ阻害物質がオメプラゾール、ランソプラゾール、パントプラゾール、ペルプラゾールもしくはラベプラゾール、またはその塩、異性体、エナンチオマーもしくは誘導体である請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】プロトンポンプ阻害物質がオメプラゾールである請求項 2 記載の医薬組成物。

【請求項 4】オメプラゾールの投与量が約 10 ~ 約 20 mg である請求項 3 記載の医薬組成物。

【請求項 5】炭酸水素塩が炭酸水素ナトリウムもしくは炭酸水素カリウムまたはそれらの混合物である請求項 1 ~ 4 いずれか 1 項記載の医薬組成物。

【請求項 6】炭酸水素塩が炭酸水素ナトリウムである請求項 5 記載の医薬組成物。

【請求項 7】炭酸水素塩が約 18 ~ 40 meq の ANC 量で投与される請求項 6 記載の医薬組成物。

【請求項 8】投与形態が圧縮錠剤である請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 9】投与形態がカプセル剤である請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 10】 プロトンポンプ阻害物質がオメプラゾールであり、約 10 ～ 約 20 m g の範囲の投与量である請求項 7 記載の医薬組成物。

【請求項 11】 投与形態が水と一緒に投与されるサシェである請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 12】 投与形態がサシェの粉末剤形である請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 13】 プロトンポンプ阻害物質がオメプラゾールであり、約 10 ～ 約 20 m g の範囲の投与量であり、該医薬組成物が胸やけ症状の処置を必要とするヒトに投与するためのものである、請求項 7 記載の医薬組成物。